



社会福祉法人 済生会 済生会熊本福祉センター	
就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふ子ども園 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ	済生会グループホーム事業所 済生会熊本福祉相談支援センター
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	熊本市障がい者相談支援センターさいせい 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい者相談支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理 念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。
・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
・利用者主体の福祉を実践します。

済生会熊本福祉センター「組織体制変更のお知らせ」「所長補佐・事務長就任の挨拶」

所長 宮川 栄助



今、日本のみならず世界のさまざまな環境が大きく変化していると感じています。コロナ禍を機に一気にIT化が進み生産性を上げる事業もあれば消失する企業もあり、いろいろな組織体が戦略の転換、組織構造の変革を迫られているのではないのでしょうか。

福祉の世界も例外ではなく、運営に苦慮している事業所も少なくないと推察します。当センターも、今まさにこれからの20年、30年を見据えて積極的な事業展開を考えているところです。これは取りも直さず利用者、園児はもとよりご家族、職員、地域の皆様への福祉サービスの継続及び向上を目指してのことです。

そのためには組織強化が必要と考えました。具体的には10月1日より木下事務長を所長補佐に、小西管理者を事務長に任命し、リスク管理の強化、事業計画の具体化を進めて参ります。両名とも皆さんの協力を得て日本でもトップクラスの福祉センターを作り上げようと意気込んでいます。よろしくご協力くださいようお願い致します。

所長補佐 木下 裕幸



10月1日付で所長補佐という新しい大任をお受けすることになりました。今回、私に授けられたミッションは「ウイズのシームレスな再構築」と「コンプライアンスとガバナンス」「人権尊重」「安全管理」に特化するものです。

最も大きな課題であるウイズの再構築は喫緊のテーマととらえています。ウイズは福祉センターが運営する就労継続支援事業でも最も多い利用者を抱え、内田施設のフラッグシップ的意味合いもあります。しかしながら2005年に開設された工場も16年経過し、様々な不具合を抱えてきました。熊本県下で5つしかない医療寝具が取り扱えるクリーニング工場の一つであり、万が一にも止まれば地域医療の停滞につながります。我々の地域における責務も大きいと認識しています。

皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務長 小西 忠光



このたび、10月1日付で事務長という大役を拝命いたしました。

私は、2018年7月に入職し、10月から済生会ほほえみと済生会熊本福祉相談支援センターの管理者として業務に携わってきました。ちょうど3年になります。これからは、管理者の業務を継続しながら、事務長としての業務も遂行していかなければいけませんので今まで以上に福祉センター全体について考えていかなければならないと大変責任を感じています。

福祉センターの今年度基本方針の遂行、中期計画ではハード面、ソフト面の改善が検討されています。まだまだ課題はたくさんあると思います。

宮川所長はじめ各事業所の管理者、職員と協力し、微力ではございますが福祉センターの発展に努めていきたいと思っています。今後とも、ご支援・ご協力くださいますようお願い致します。

ほほえみ「地域感謝DAY」

11月20日土曜日に「地域感謝DAY」と称してパン工房ふわりにてパンの販売会を行いました。当日は日頃の感謝を込めて全商品20%割引!更に、500円以上ご購入頂いた方にはミニ焼き菓子のおまけも用意しました。済生会ウイズからも利用者さんが作られたフェルトの作品やポチ袋、年賀はがき、メッセージカードを販売しました。

予約分や当日分のパンの成型や焼成に、前日から当日まで大忙しのパン工房メンバー。「地域の皆さんの笑顔のために!」と、全員でいつも以上に気持ちを込めて焼き上げました。

当日は天気にも恵まれ、爽やかな秋晴れの中開催する事が出来ました。新型コロナ対策として、アルコール消毒液を設置し、予約受け渡しの場所と当日販売の場所を分けて行いました。

なかなか販売に出ることが難しいご時世でしたが、久しぶりの販売会に利用者の皆さんも「ドキドキする!」とやや緊張気味な表情。販売会が始まると徐々にいつもの通りの笑顔になり、パンの説明や受け渡しをテキパキとされていました。

ご購入頂きました皆様、誠にありがとうございました。また、パン工房「ふわり」ではパンやギフトの販売をしておりますので、いつでもお声掛け下さい。



済生会熊本福祉センター

お知らせ

1・2・3月の行事予定

済生会
しらふ子ども園

1月12日(水) どんどこや
1月22日(土) りす組座談会

済生会なでしこ園

3月29日(火) 卒園式

内田施設

2月11日(祝・金) 地域感謝DAY

2月 3日(木) まめまき
2月19日(土) ひよこ組座談会
2月24日(木) 第6回 マラソン大会

3月 2日(水) お別れ遠足
3月 3日(木) ひな祭り会
3月19日(土) 卒園式

済生会かがやき 3月19日(土) 春のレクリエーション

済生会ウイズ 2月19日(土) 春のレクリエーション

済生会ほほえみ 3月12日(土) 春のレクリエーション

※新型コロナウイルスの影響により
中止・延期となる場合もございます。

施設見学及び就労体験会

済生会ウイズ

9月23日(木・祝)に「済生会ウイズ就労体験会」を実施しました。こちらは年に1回、主に支援学校の生徒さんに向けてウイズの作業の見学、作業体験の実施を通して、ウイズの雰囲気や作業内容、年間の取り組み等を理解してもらい、将来の進路候補の一つにしてもらうことを目的としています。

当日は、コロナウイルス感染予防の徹底を行いながら、各支援学校より7組の生徒及び保護者の方の参加がありました。体験会の内容として、クリーニングでは、アイロン掛けやタオルたたみ、シーツ投入作業等を行い、食品の方では、給食事業の見学と玉ねぎの皮むきの体験をしていただきました。

体験会終了後、「たたみ作業が楽しかった」「丁寧に教えてもらうことができて良かった」「支援員と従業員の区別が分かりにくかった」などのご意見を頂きました。反省点は次年度に繋げ、参加者の皆さんから「ウイズの体験会に来てよかった」と思われるようにしていきたいと思います。



かがやき三二運動会

済生会かがやき

10月9日(土) ほぼえみ多目的ホールにて「かがやき三二運動会」を行いました。利用者さん・職員共に白組と赤組のチームに分かれて、午前中はラスク釣り競争・玉入れ・風船リレー等の競技を行い、午後は組対抗のペタンク大会を行いました。組の優勝がかかっていることもあり、皆さん競技だけでなく、応援にもとても熱が入っていました。白熱した戦いの結果、今年は見事白組が優勝し、優勝した白組にはお菓子のメダルが授与されました。

コロナ禍の為、今年も施設内での開催となりましたが、皆さんの協力のもと、充実した運動会となりました。



秋の遠足



済生会しらふじ子ども園

10月20日(水)、以上児3クラスで「熊本県民総合運動公園」へ遠足に行きました。各クラスそれぞれでバスに乗り込み、運動公園で何をして遊ぶのかワクワクしながら向かいました。

公園につくと、大きな遊具があり、山の上からの滑り台を「キャー」と声を上げながら滑ったり、た〜くさん落ちているドングリをお友だちと競争するように拾ったり、それぞれに楽しんだようです。帰るころには、ビニール袋がいっぱいになるまで拾ったドングリのおみやげを持っているお友だちや、靴や足が真っ黒になっている子どもたちの姿をみて、思いっきり楽しめたんだと、私たちも嬉しくなりました。



なでしこ園 オータムパーティー

済生会なでしこ園

10月23日(土)、なでしこ園ではオータムパーティーが開催されました！今年で2回目となるこの行事ですが、ハロウィンがテーマということもあり、子どもたちだけでなく保護者の皆さまも素敵な衣装を着ていられている方も……。フォトスポットで親子での写真撮影の際は「こっち向いて〜」と周りも大盛り上がり。思い思いのポーズをとってくれるお子さんもいました。他にも、親子でふれあいあそび、工作、クッキング、ゲームあそび……たくさんのコーナーに子どもたちの楽しそうな声が園内に響いていました。



考課者研修、ステップアップ研修を行いました

10月7日(木)、ブレインスター田木先生を講師に迎え、考課者研修を行いました。済生会熊本福祉センターでは目標管理制度を導入しており、年に2回人事考課を行っています。主に人事考課に携わる職員を対象に、面接するにあたっての傾聴技法やフィードバックの方法について学びました。人材育成につながるような人事考課を目指しています。

また10月23日(土)、ステップアップ研修を行いました。作業指導員、世話人等を対象に宮川所長より済生会や熊本県支部の現状について、木下所長補佐より権利擁護について、入江管理者よりコンプライアンスについての講義をして頂き、グループワークでは『日頃利用者さんに関わるなかでの悩み等』について話し合いを行いました。「日頃悩んでいることをたくさん話せてよかった」といった意見が多くあり、有意義な研修になりました。



考課者研修



ステップアップ研修

各施設・事業所紹介

「熊本県地域生活定着支援センター」

地域生活定着支援センターは、高齢又は障がいがあり医療や福祉の支援が必要な刑余者(罪を犯した方)に対し、刑務所出所後の地域生活を支援するため、2010年(平成22年)に開所されました。2014年(平成26年)から熊本県済生会が事業を運営しています。刑務所と聞くと、多くの方は「怖い人がいる」と思われるかもしれませんが。私たちも、どんな人だろうと毎回緊張して刑務所へ行きますが、直接会ってお話をしてみても、「出所後の生活が心配だなあ」と思うことがあります。なぜなら、教育を十分に受けることができなかった方や、身寄りが誰もいない方など、社会の支援を必要とする方がとても多いからです。近年、SDGsやソーシャルインクルージョンなどの言葉をよく耳にするようになりました。県内唯一の刑余者専門の相談支援事業所として、これからも刑余者へ寄り添った支援を通じて、「誰一人取り残さない社会」の実現に取り組んでまいります。



発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 宮川 栄助
編集 広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
<https://www.sk-fukushi.jp/>